

X線検査時の追加資料について

後肢膝関節の資料を任意提出できます

販売者の希望に応じて追加、オンライン上で公開
従来の資料28枚+後肢膝関節8枚 = 36枚

危険を伴うことが多いため、撮影困難と判断したら
安全優先で中止を検討してください

X線検査時のお願い

線量不足・ブレ・被写体の中心からのズレを避ける

カセット(照射範囲)：四つ切り(10×12inch)が標準
他のサイズ(六つ切り・半切)も可

フィルムマーカ－：プリント可、撮影後の手書き不可
背掌（底）側像ではカセットの外側
外内側像ではカセットの頭側
斜位像では頭・外側のいずれか
骨組織に被せないようマークする

放射線障害防護服：畜主への着用も啓蒙

不適切画像の再撮影をお願いします

後肢膝關節

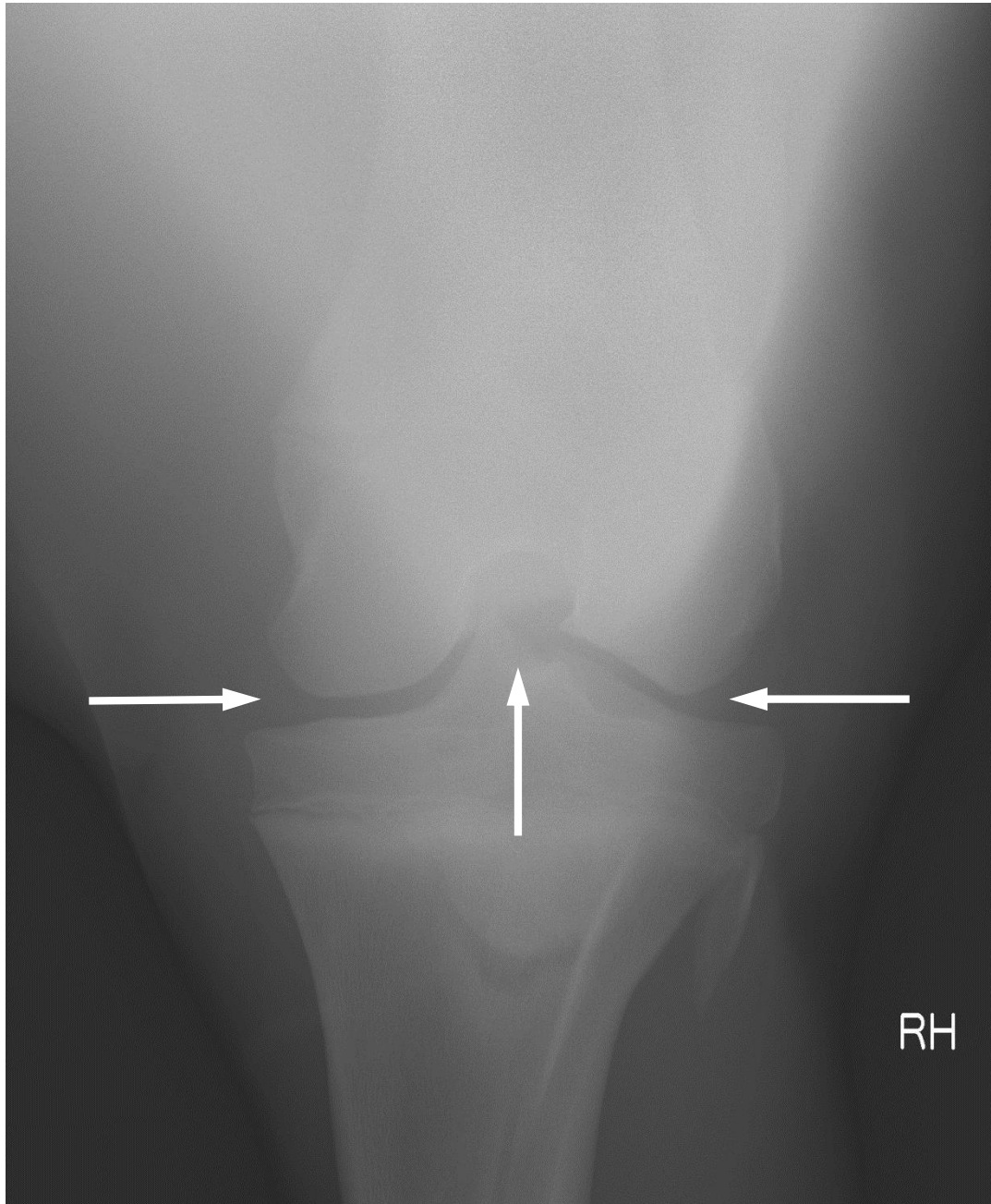
尾頭側像

外內側像

尾外頭內側斜位像

屈曲位外內側像

尾頭側像



大腿骨と脛骨の関節面
が重なりなく描出される

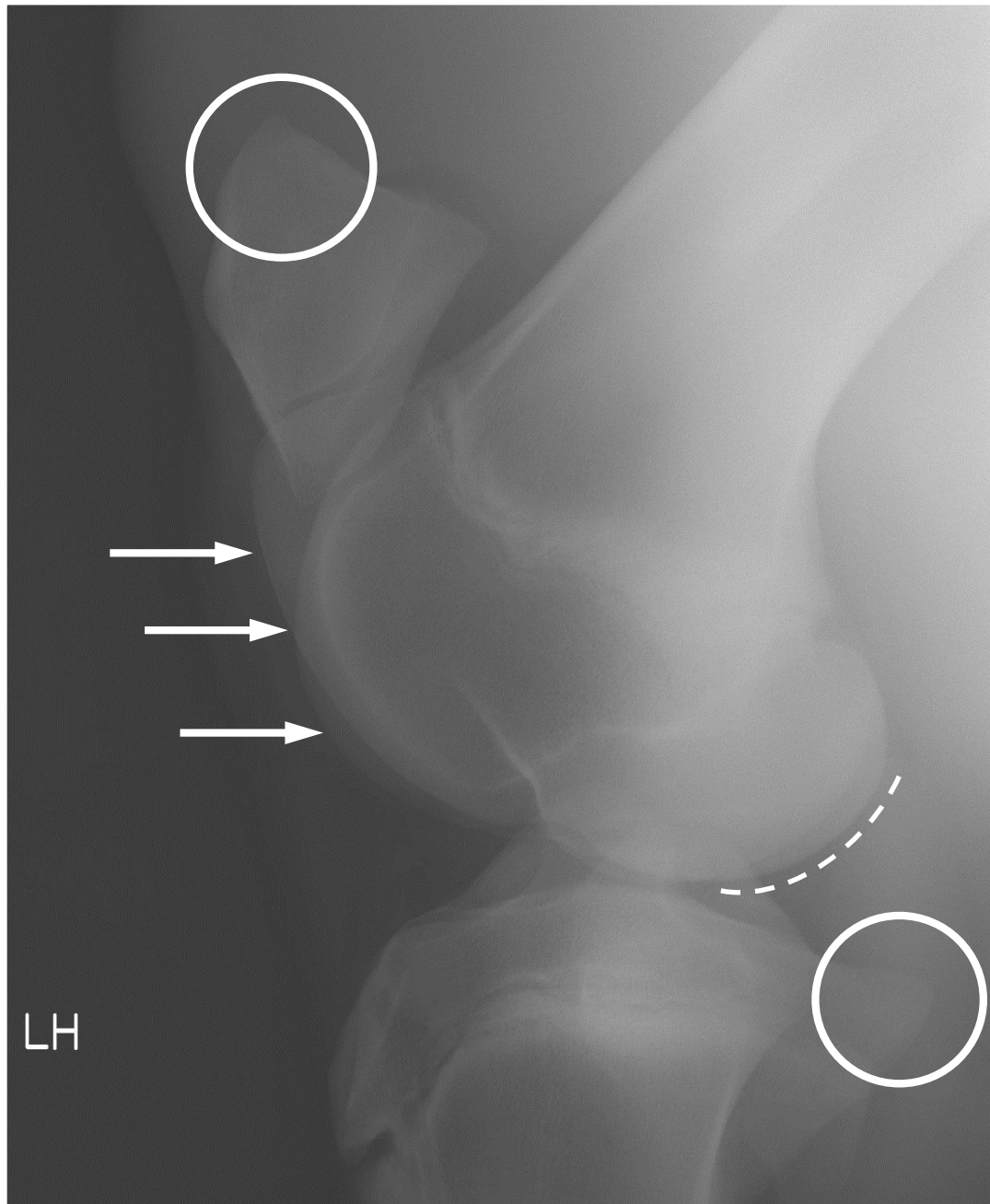
20～30°射ち下し撮影

外内側像

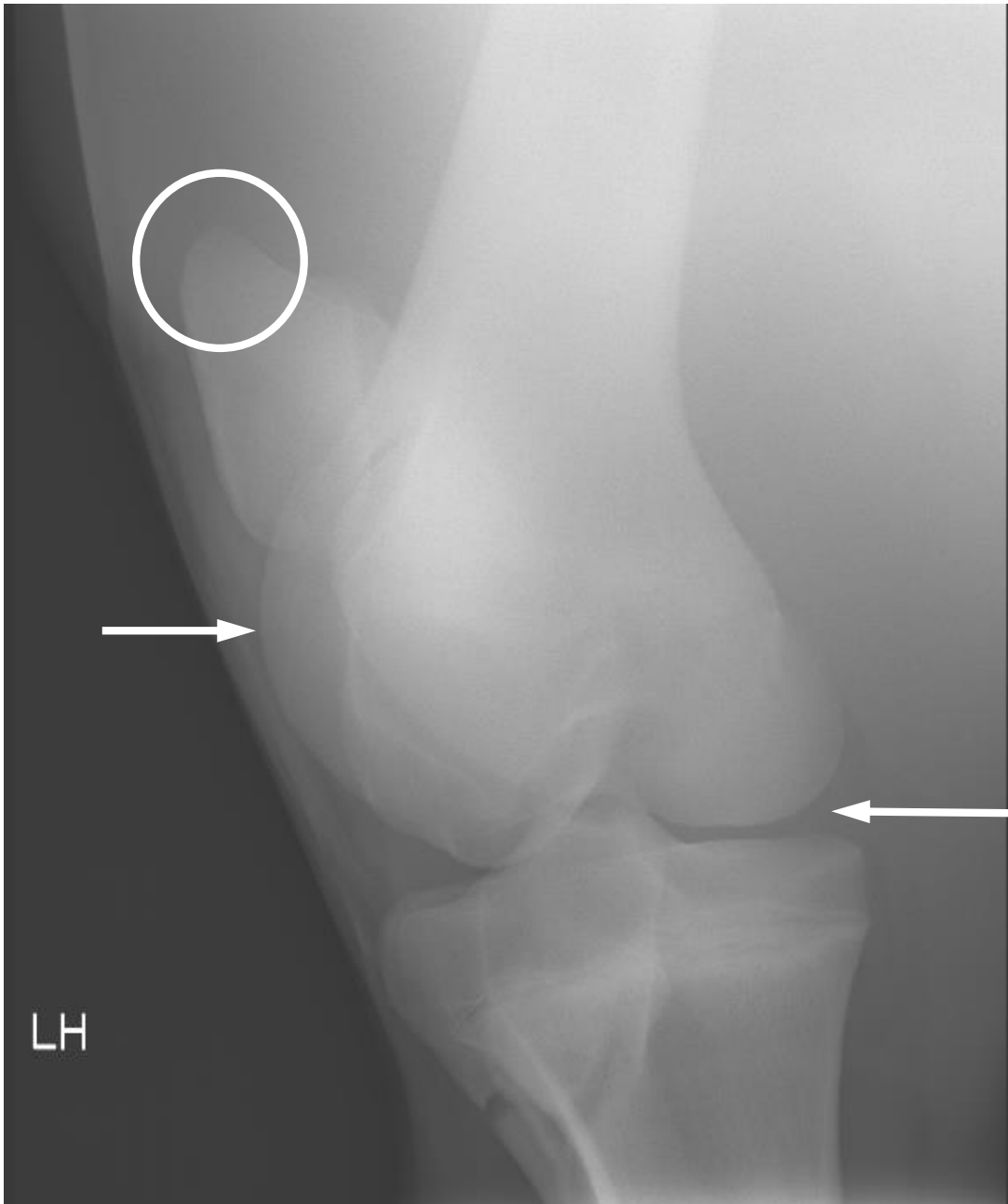
大腿骨の
外側滑車・内側滑車・
滑車溝が区別できる

膝蓋骨と脛骨近位尾側
を枠内に納める

※プレートの縦横は自由



尾外頭内側斜位像

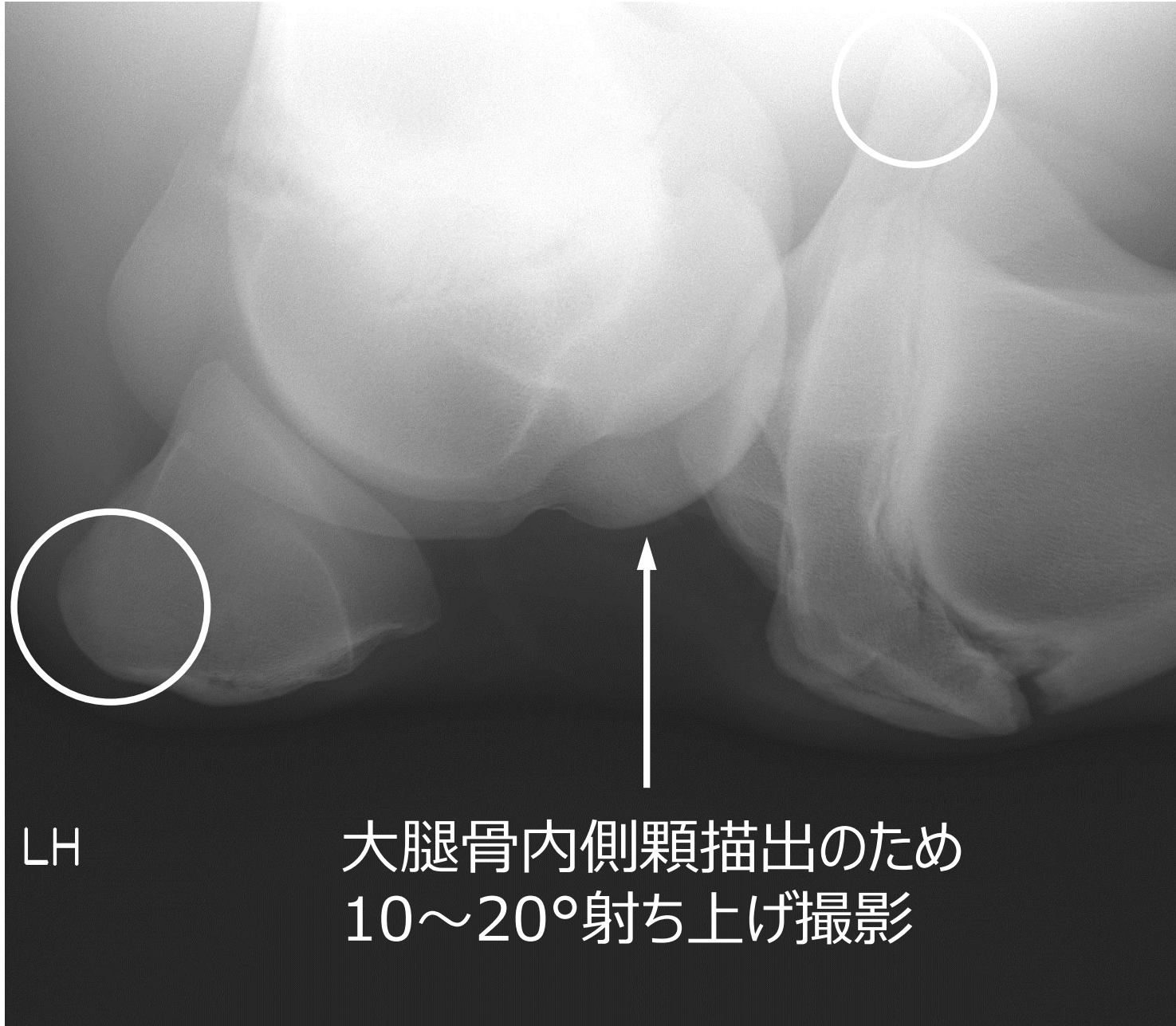


大腿骨外側滑車が観察
できる

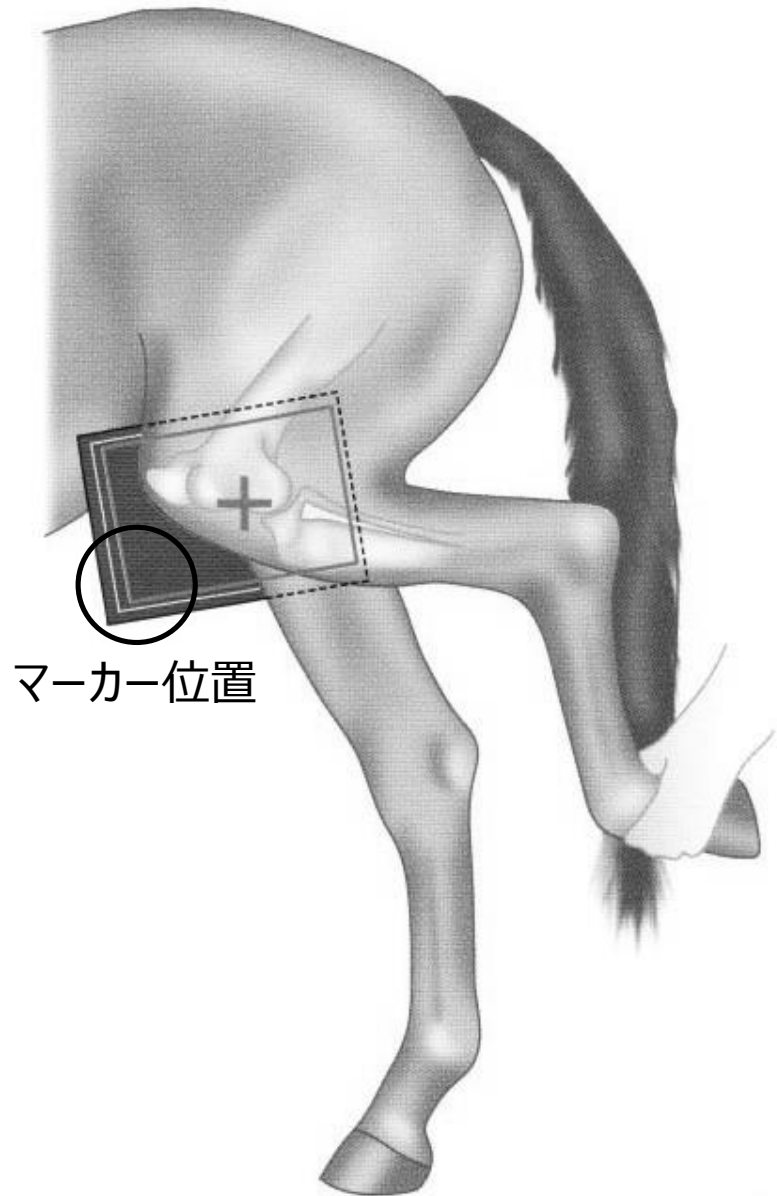
大腿骨内側顆と脛骨近
位が重ならない

※プレートの縦横は自由

屈曲位外内側像



屈曲外内側像縦横方向の統一にご協力ください



馬の起立時と同じ上下方向で
頭側（下部）にマーカー付与